

# 支える人の学びの場

医療および教育専門職のための

## こころ塾 2016 仙台

発達障害の理解と支援：先端の知と実践をつなぐ

2016年9月24日(土) 9:50~17:00 (受付開始時間9時~)  
東北大学 川内南キャンパス 文学部第1講義室 ※参加費：無料

定員：100名 (申込による先着順) ※定員になり次第、締め切らせて頂きます。

参加資格：教育や医療に関係する仕事に就いている方はどなたでもご参加いただけます。

現代の社会には、人を支えることを仕事としている人たちがたくさんいます。中でも、教育や医療の現場で働く人たちは、子どもやお年寄り、病気の人や身体の不自由な人たちが安心して暮らせる社会の、一番の担い手でもあります。そして、支える人たち自身も元気で健やかに毎日を過ごせることが、私たちのめざす日本社会の姿ではないかと考えます。京都大学こころの未来研究センターでは、こうした考えのもとで「支える人たちが元気になる学びの場」を作ることを発想し、2013年から「こころ塾」を開講しています。2016年度は、下記の要領で「医療および教育専門職のためのこころ塾2016 仙台」を実施します。多数の皆様のお申込みをお待ちしております。



### プログラム

9:50~10:00	挨拶	吉川左紀子(京都大学こころの未来研究センター・センター長)
10:00~11:30	講演	「自閉症の診断基準を神経機構から理解する」 乾敏郎(追手門学院大学心理学部・教授/京都大学こころの未来研究センター・特任教授)
11:30~12:50	休憩	※会場内では飲食ができませんので、学食や近隣の飲食店をご利用ください。
12:50~14:00	講演	「子どもが育つ・親も育つー親性機能の獲得とその神経機構」 明和政子(京都大学国際高等教育院/大学院教育学研究科・教授)
14:20~17:00	事例報告と討議	高畑脩平(白鳳短期大学総合人間学科リハビリテーション学専攻作業療法学課程・講師) 乾敏郎・明和政子・吉川左紀子(司会)

### 申し込み方法

E-mail: [kokoro-sendai@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:kokoro-sendai@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

件名に「こころ塾2016仙台 申込」と明記し、必要事項を記入のうえ、お送りください。



#### 必要事項

- ①氏名(ふりがな)
- ②ご職業
- ③返信用メールアドレス
- ④受講動機・受講のきっかけ
- ⑤こころ塾で学びたいこと・講師への質問など

※④⑤は簡単にご記入いただければ結構です。

※受付後、こちらから受付のメールをお送りいたしますので、上記アドレスからメールが受け取れるよう受信設定をお願いいたします。



#### Peatix:

<http://kokoro-sendai-2016.peatix.com/>

上記サイトからのお申込みも可能です。

### 連絡先/申込先

京都大学こころの未来研究センター リエゾンオフィス(平日9時~17時)

E-mail: [kokoro-sendai@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:kokoro-sendai@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

主催：京都大学こころの未来研究センター

共催：東北大学大学院文学研究科 心理学講座、京都大学大学院医学研究科 脳機能リハビリテーション学分野 発達障害系研究室

### 東北大学 川内南キャンパス 文学部第1講義室

(宮城県仙台市青葉区川内27-1)

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawauchi/areac.html>



仙台駅より地下鉄東西線「八木山動物公園」行乗車  
「川内駅」または「国際センター」駅下車徒歩約5分



京都大学 KOKORO RESEARCH CENTER KYOTO UNIVERSITY

こころの未来研究センター

# 支える人の学びの場

医療および教育専門職のための

## こころ塾 2016

発達障害の理解と支援：先端の知と実践をつなぐ

2016. 10. 8 (土)、10. 15 (土)、10. 22 (土)

各日とも 10:00～17:00 まで (受付開始 9:30～)

京都大学 稲盛財団記念館3階 大会議室

現代の社会には、人を支えることを仕事としている人たちがたくさんいます。中でも、教育や医療の現場で働く人たちは、子どもやお年寄り、病気の人や身体の不自由な人たちが安心して暮らせる社会の、一番の担い手でもあります。そして、支える人たち自身も元気で健やかに毎日を過ごせることが、私たちのめざす日本社会の姿ではないかと考えます。京都大学こころの未来研究センターでは、こうした考えのもとで「支える人たちが元気になる学びの場」を作ることを発想し、2013年から「こころ塾」を開講しています。【医療および教育専門職のためのこころ塾2016】は、3日間コースで実施します。多数の皆さまのご参加をお待ちしています。

定員：100名 (申込による先着順) ※定員になり次第、締め切らせて頂きます。

参加資格：◇学校教員および教育関係の仕事に就いている方  
◇作業療法士、理学療法士、臨床心理士、言語聴覚士の実務経験が3年以上の方  
◇3日間全日参加できる方

情報交換会費：1,000円 × 3日 (初日に集めます)

主催：京都大学こころの未来研究センター

共催：京都大学大学院医学研究科 脳機能リハビリテーション学分野 発達障害系研究室



プログラム

9:30~	受付開始
10:00~12:00	講義① 乾敏郎(追手門学院大学心理学部・教授/京都大学こころの未来研究センター・特任教授)
12:00~13:00	昼食
13:00~14:30	講義② ゲスト講師
14:40~15:20	事例(実践)報告
15:30~16:00	グループディスカッション
16:00~17:00	講師とのQ&A

10月8日(土)

- 『感情と身体性:感情の役割とその神経機構』  
乾敏郎(追手門学院大学心理学部・教授/京都大学こころの未来研究センター・特任教授)
- 『周産期からの身体感覚と認知機能の発達』  
明和政子(京都大学国際高等教育院/大学院教育学研究科・教授)
- 実践報告 小川詩乃(京都大学大学院人間・環境学研究科・日本学術振興会特別研究員PD)  
田村綾菜(愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所・リサーチレジェンド)

10月15日(土)

- 『円滑なコミュニケーションを支える神経機構』  
乾敏郎(追手門学院大学心理学部・教授/京都大学こころの未来研究センター・特任教授)
- 『「社会性」という観点からみた精神科の病気と臨床』  
村井俊哉(京都大学大学院医学研究科・教授)
- 事例報告 山本香織(市立福知山市民病院・作業療法士)

10月22日(土)

- 『言語・非言語コミュニケーションの神経機構』  
乾敏郎(追手門学院大学心理学部・教授/京都大学こころの未来研究センター・特任教授)
- 『イマドキの思春期の問題を考えるーネットのなかに拡散していくこころー』  
岩宮恵子(島根大学教育学部・教授・臨床心理士)
- 事例報告 小松則登(愛知県心身障害者コロニー中央病院・作業療法士)



京都大学 稲盛財団記念館3階 大会議室  
(京都市左京区吉田下阿達町46 [川端近衛南東角])  
<http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/jp/about/access.html>

申し込み方法

E-mail でお申し込みください。件名に「こころ塾2016 申込」と明記し、必要事項を記入のうえ、お送りください。

必要事項

- ①氏名(ふりがな)
- ②所属先
- ③職種
- ④経験年数
- ⑤返信用メールアドレス
- ⑥受講動機・受講のきっかけ
- ⑦こころ塾で学びたいこと・講師への質問など

※⑥⑦は簡単にご記入いただければ結構です。  
※受信後、こちらから受付のメールをお送りいたしますので、下記アドレスからメールが受け取れるよう受信設定をお願いいたします。

連絡先/申込先

京都大学こころの未来研究センター  
リエゾンオフィス(平日9時~17時)

E-mail: [kokoro-m@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:kokoro-m@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

